

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	障害児保育園ヘレン中村橋
------	--------------

公表日 2025年3月6日

	チェック項目	はい	いい	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	現場職員の配置不足や働きづらさを事務局が理解できず、現場の働きづらさが改善されない。時間休を廃止された、残業ありきのシフト、時短勤務が3歳までしかない(事務局は就学前まで)、職種によって勤務形態が異なり不公平である等、現場職員の働き方改革がなされない。 - - - 8名全員が登園すると食事介助などスタッフが足りなくなることがある。スタッフの有休などで休みをとることを考えての人員配置にしてもらいたい。ただ大人の数だけたりていればよいというのではなく、子どもの状況を知って対応ができるスタッフがヘルプに入れる体制がとれるようになることよい。 - - - 職員補充、業務整理。	自由記入の内容につきましては職員配置についての意見があるため、項目2にて回答します。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	少ない職員で対応できるように、活動内容やバス送迎の順番を変更し、対応しているが、園によって配置数の違いが大きいと感じている。	配置基準は満たしていますが、スタッフの休暇等へ柔軟に対応出来るよう、複数園勤務看護師の運用や他園からのヘルプの調整等を実施します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	各スタッフがこうしたほうがよい、とうことがあれば提案しあって試している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		スタッフ面談、各アンケート、ご意見の「目安箱」の運用等、スタッフのご意見を伺う機会を増やしております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	他部署のひとがはいることはあるが、社外の方が相談窓口になっている第三者機関があるかどうかわからない。明確にされていないように思う。	第三者による外部評価は行っておりません。保護者および職員向けの評価表をもとに事業所ごとに業務改善を行っております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		外部研修の情報は都度お伝えできる体制を整えます。社内研修に関しましては告知をし積極的な参加を促して参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	人員不足のため質の高い保育は提供できていない。出来る範囲での最低限。	現在公表に向けて準備しています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	アセスメントのアプリ化のために項目を挙げたが、精査が必要。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	標準化された指標で評価していない。	標準化されたツールを使用できるように検討して参ります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		その日の支援前の打ち合わせに関しましては、朝の連絡会の時間や「活動表」の共有をもって実施し、チーム連携を取れるようにいたします。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	「必ず」は行えていない。年度当初は意識をして保育活動についての振り返りを行っていたが、業務が増えてきてできなくなってきた。	支援終了後の全体打合せはシフト上難しいため、日案や週一回開催の保育MTG時にも日々の支援において振り返りを実施します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	連携が必要とおもわれるケースについては連携をとっている	
	26	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0		
	27	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	0		
関係機関	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4	不明。	必要性に応じ、各関係機関と連携をとって参ります。
関係機関	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		
関係機関	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
関係機関	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	保護者交流する機会の企画や他機関からの保護者向けの情報は伝えているが、自社での勉強会はできていない。 - - - 不明。	現在家族支援プログラムに沿った支援は実施していませんが、必要に応じて導入を検討してまいります。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		保護者会、親子交流会等の機会を設けておりますが、要望に応じて機会を増やす検討もいたします。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	事務局が無断で職員の個人情報を別の職員に伝えてしまう。	個人情報の取り扱いに関しましては十分に配慮しております。故意に漏洩させてしまう事は決してありません。
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	自分の事業所では地域住民へ開かれた活動ができていない。	心身障害者福祉センター内での交流は進めておりますが、今後は地域へも開かれた園運営を目指します。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
非常時等の対応	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		